

Public
Relations



広報いちのへ

Ichinohe

Jan.
2023
No.726

1

© COVER

新しい1年に希望を込めて

(茂谷の山 元旦登山。関連 13ページ)



町の皆さまとともに



一戸町長
小野寺 美登

新 年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、ご健勝で新年をお迎えいたしましたことを心よりお慶び申し上げますとともに、本年が良い年になりますようご祈念申し上げます。

昨年は、未だ続くコロナ禍に加え、世界経済などの影響による燃料価格や物価の高騰、さらには8月の大雨災害など、当町にとって非常に厳しい年となりました。その一方で、奥中山高原をはじめ町内観光地への入込客が増加するなど、コロナと経済活動の両立に向かう流れを受け、明

るい兆しも見えてきました。

昨年7月には、御所野遺跡の世界遺産登録1周年に加え、御所野縄文公園の来場者数60万人達成という大きな節目がありました。引き続き、町民の皆さまとともに遺跡を守り育てながら、その価値を広く伝え、全国・世界から多くの方々にお越しいただけるよう取り組んでまいります。

今年は、現在策定を進めている『一戸町総合計画後期基本計画』の初年度となります。縄文の精神に基づく持続可能なまちづくりを推進するため、子育て支援、教育、健康・福祉、移住・定住、産業振興など、様々な分野で必要な施策を展開します。

特に、子育て支援においては、保育サービスや相談体制の充実、経済的負担の軽減、さらには個々のニーズに応じ

た情報の提供など、支援の拡充を進めてまいります。

また、産業振興においては、町内産業の体質強化を図るため、デジタル化や省力化による生産性向上のほか、社会的要請である脱炭素・省エネルギー化を進めることとし、企業や農林業者の皆さまの個別の状況に応じた最適な支援を検討してまいります。

加えて、大雨で被災した町道、町管理河川、運動公園および農地などの復旧を進めるとともに、国や県と連携し、馬淵川の改修についても具体化してまいります。本年においても、多くのご意見を丁寧に向かいながら、皆さまとともに町政を進めていきたいと存じますので、ご指導ご鞭撻のほどお願いを申し上げます。

身近な議会を目指して



一戸町議会議長
駒木 二郎

明 けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、心健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、町議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご支援と格別なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、当町の御所野遺跡を含む『北海道・北東北の縄文遺跡群』が世界遺産に登録されてから1周年を迎え、記念事業を展開してまいりました。コロナ禍の影響により、2力年に渡りやむなく中止した『一戸まつり』などの各種イベントを開催できたことは、何とか新たな一歩を踏み出せ

たものと安堵しております。

8月の大雨災害では、町民お一方の尊い命が失われました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、浸水や土砂災害等の被害に遭われた方々に対し、心からお見舞い申し上げます。議会としても、今回の災害対応について検証し、災害に強いまちづくりを推進していく所存であります。

新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響は、原油価格・物価高騰等も加わり、幅広い業種において深刻さを増しており、コロナ終息後の社会経済活動を引き上げるための対策について、町当局と議論を深めてまいります。

一方で、新型コロナウイルス感染拡大を機に、テレワークなどの普及により都市部から地方への移住者が増加するなど、地方の果たす役割が再

評価される傾向が見受けられます。この契機を逃すことなく、自然と共生した縄文文化が今も根付く『いちのへ』の特色を活かし、移住・定住につながる関係人口の拡大にも努めていきます。

本年は、議会議員に課せられた職責を改めて見つめ直すとともに、議員個々の英知を結集し、住民福祉の向上のため全力を傾注してまいります。

さらに、多種多様な意見を町政に反映させることができよう、議員一人ひとりが研鑽に努め、資質の向上を図ることはもとより、皆さまに寄り添い、身近に感じられる存在である議会を目指してまいります。結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多き一年となりますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

目次 Contents

4 Ichinohe News

8 町の未来を考える

10 まちの話題 地域と繋がる日本酒づくりプロジェクトなど

14 農業始めるなら、夢ファーム

15 まちのお知らせと情報

16 保健だより

17 一戸高校の魅力を紹介『#桜陵』

18 NPO通信
御所野縄文博物館／運動公園
／コミセン&図書館通信

20 いのへまちめぐりミュージアムへ文芸へ子育て知恵袋へ広報クイズ

22 お知らせ

24 一戸小金管バンド『あつという間のコンサート』へ編集後記

藤島のフジを守る活動 小鳥谷小いわてユネスコ賞受賞

小鳥谷小学校（松尾葉子校長、児童 28 人）が、岩手県ユネスコ連絡協議会（三田地宣子会長）から、第 27 回いわてユネスコ活動奨励賞を受賞しました。

同校は隣接する国指定天然記念物『藤島のフジ』の保護活動を長年にわたり続けてきました。

平成 2 年から地域の清掃活動に参加。平成 10 年頃からは、堆肥作りや施肥などを全校児童で春と秋に実施しています。さらにこれらの活動をパンフレットやポスターなどにまとめ、保護者や地域の人に発信してきました。

このような長年の活動が高く評価され、12 月 7 日に同校で表彰状の伝達式が行われました。児童会長の片野旺太さん（6 年）は「藤島のフジは私たちの身近にある大切なもの。これからも後輩たちに守ってってもらいたい」と願いを込めました。



①



① 12 月 7 日に表彰状を受け取った全校児童のみなさん
② 5 月に実施した藤島のフジの清掃活動

東山初雄さんの粟 宮中行事の新嘗祭に献納

令和 4 年の新嘗祭に、東山初雄さん（小友）が栽培した粟が献納されました。新嘗祭とは、毎年 11 月 23 日に行われる宮中行事です。天皇陛下がその年に収穫された穀物を天地の神々に供え、自らも食することにより、その年の収穫を感謝するものです。全国各都道府県から献納され、今年は岩手県を代表して東山さんの粟が選ばれました。

本来であれば、皇居へ持参して献納することになっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、郵送での献納となりました。東山さんは妻・キミさんと二人三脚で約 20 年にわたり主に粟やエゴマを栽培し、草取りから収穫まで手作業で行っています。12 月 7 日には、新嘗祭に供えられたことを証明する証書と記念品が小野寺美登町長から東山さんへ伝達されました。東山さんは「皆さんのおかげでここまでやってこれた」と感謝を述べました。



①



②

①証書を受け取った東山さん② 10 月に行った粟の収穫。妻・キミさんと数日かけて全て手作業で行いました

一戸中学校剣道部女子団体 悲願の県大会初優勝



一戸中剣道部の皆さん。ずらりと並ぶトロフィーは今季、各種大会で勝ち取ったもの

5人の絆でつかんだ勝利 さらなる高みを目指して

令和 4 年度岩手県中学校新人大会剣道競技が 11 月 19、20 日に岩手県営武道館（盛岡市）で行われ、女子団体で一戸中学校が初優勝、女子個人では同 2 年の井橋沙良さんが優勝を果たしました。

剣道部の部員 14 人のうち、女子部員は 2 年生 5 人のみです。チームの強みを聞くと「仲が良いことです」とほぼ笑む 5 人。主将の鳥居俐珠さんは「厳しい練習ではお互いに声を掛け合い、やるときはやるチームです」とメリハリある様子を伺わせます。先輩、後輩がいない中、誰ひとり欠けることなく、見事つかんだ初優勝。5 人の次の目標は県中総体と東北大会で優勝し、全国大会に出場すること。春に向け日々、稽古に打ち込みます。

本年度、同部は各種大会で優秀な成績を収めてきました。6 月 8 日に行われた第 61 回岩手県下少年剣道大会では男子団体で準優勝、県中総体では女子団体で準優勝し東北大会に出場しています。

前部長の蟹澤奏斗さん（3 年）は「部員全員仲が良く、どんなに厳しい練習でも乗り越えられる忍耐力が武器です」と強さの秘訣を教えてくださいました。

主な大会成績 新人大会の他、各種大会で活躍しました

- 岩手県知事杯第 61 回岩手県下少年剣道大会
男子団体 第 2 位
女子団体 第 3 位
- 第 46 回黒潮少年剣道錬成大会
男子団体 第 3 位
- 第 49 回岩手県スポーツ少年団剣道大会
男子個人 第 2 位 田中諒哉
女子個人 第 2 位 鳥居俐珠
第 3 位 井橋沙良
- 岩手県中学校総合体育大会
女子団体 第 2 位（東北大会出場）
女子個人 第 2 位 井橋沙良
（全国・東北大会出場）
第 5 位 鳥居俐珠（東北大会出場）



県新人大会の優勝報告へ 12 月 16 日に役場庁舎を訪れた 5 人の選手たち。左から中嶋紗那さん、鳥居俐珠さん、井橋沙良さん、鈴木穂花さん、谷地愛花さん

税に関する作文『税』を身近に

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した『税についての作文』で町内の中学生5人が入賞しました。

作文を書くため税について学んだ生徒たち。税を身近に感じるきっかけになりました。

【受賞者】

- ◆岩手県納税貯蓄組合連合会会長賞…尾崎和さん（奥中山中3年）
- ◆岩手県納税貯蓄組合連合会優秀賞…釜石月菜さん（一戸中3年）
- ◆二戸税務署長賞…平井真央さん（一戸中3年）、花下香菜乃さん（奥中山中3年）
- ◆一戸町納税貯蓄組合連合会会長賞…田中諒哉さん（一戸中3年）



左から釜石月菜さん、田中諒哉さん、平井真央さん



左から、花下香菜乃さん、尾崎和さん

第23回尖石縄文文化賞受賞

縄文時代の研究などに優れた功績をあげた個人や団体に贈られる第23回宮坂英弼記念尖石縄文文化賞を御所野縄文博物館の高田和徳館長が受賞しました。

高田館長は長年にわたり御所野遺跡の発掘調査を実施し、史跡公園としての整備と保存に尽力してきました。これらの功績が認められての受賞となりました。



12月7日には町長のもとへ受賞報告に訪れました

一戸中学生徒が 高齢女性の保護に貢献

一戸中（佐々木由貴子校長、生徒168人）2年の大澤唯さん、太田代球児さん、堀内脩汰さん、和多田望さんの4人は、道に迷った高齢の女性を保護し、事故防止に貢献したとして二戸署から感謝状を受けました。12月23日には、千葉孝喜署長から堀内さんと和多田さんへ感謝状が手渡されました。4人は、12月7日の夕方に「道が分からなくなってしまったので助けて欲しい」と高齢女性に声を掛けられ、一戸交番まで安全に送り届けました。

和多田さんは「困っている人を助けるのは当たり前だと思うので、感謝状に驚いた。普段から困っている人がいたら助けてあげたい」と振り返りました。



野球部に所属している4人。左から堀内さん、和多田さん、太田代さん、大澤さん

第44回一戸町読書に関する作文コンクール表彰式



読書に関する 作文コンクール

本との出会い財産に

第44回一戸町読書に関する作文コンクール表彰式が12月7日、コミュニティセンターで開かれました。今回は応募総数54点の中から、28人が各賞を受賞しました。（敬称略）

- | | |
|---|--|
| <p>【小学校低学年の部】
最優秀賞
長内 凧（奥中山小2年）
わたしが一ばんすきな本</p> <p>優秀賞
南館 ひかり（一戸小2年）
わたしの場所</p> <p>佳作
古井 千渚（一戸小2年）
おばあちゃんつてすごい</p> <p>【小学校中学年の部】
最優秀賞
土川 梁（鳥海小4年）
クワジときゅうりくん</p> <p>優秀賞
東谷 妃莉（二戸小4年）
『はやぶさ2』を読んで</p> <p>佳作
小川 春哉（二戸南小4年）
自然環境が危ない！</p> <p>佳作
吉川 瑛太（一戸小4年）
『その手に一本の苗木を』を読んで</p> <p>立花 叶多（奥中山小3年）
友だちつてすてきな</p> <p>【小学校高学年の部】
最優秀賞
西館 岳大（奥中山小6年）
『いいね』その言葉の力とは</p> <p>優秀賞
山井 亜純（鳥海小6年）
『風の神送れよ』を読んで</p> <p>佳作
泉久保 結那（鳥海小6年）
人はなぜ差別をするのか</p> <p>穴久保 大希（小鳥谷小6年）
障害に理解がある社会へ</p> | <p>【中学生の部】
最優秀賞
釜石 美音（二戸中3年）
マイ・ネーム・イズ</p> <p>優秀賞
坂本 美音（二戸中3年）
演じられない本来のよき</p> <p>佳作
堀谷 心菜（二戸中2年）
八前 真琴（二戸中3年）
『ダイチンゲール』を読んで</p> <p>【高校生】
最優秀賞
高島 あいな（一戸高3年）
らしさ</p> <p>優秀賞
小笠原 利菜（二戸高1年）
友達の大切さ</p> <p>佳作
堺田 凜（二戸高3年）
幸せの意味</p> <p>高橋 幸来（二戸高3年）
学ぶ理由</p> <p>【一般の部】
最優秀賞
上田 敏雄（奥中山）
『読書の旅』に魅せられて</p> <p>優秀賞
中嶋 毅（二戸）
『フモンハンの夏』を読んで</p> |
|---|--|



子育て支援

①情報の入口をつくろう！

知りたい情報にアクセスしやすく
様々な情報を得る環境がある

- ・町民が子育てガイドブックの編集委員になることで情報発信、収集の拠点になる

②『子育て＝町育て』町民が、 つながるコミュニティを目指そう

あらゆる年代の人が子育てに
関与している

- ・男親同士のネットワークがあると子育てに参加しやすい環境になる

商工観光業

①人が交流する場づくり

自然発生的にみんなが集まる場所
がある

- ・毎週決められた曜日に交流し、意見交換できるサークルのような場があれば良い

②情報の発信

一人ひとりに情報を届けることが
できる

- ・観光、情報センターを設けて町に関連する情報を町内外の人に発信する

移住・定住、住宅政策

①コーディネート機能を充実させ、 住と職をセットで考える

移住者のニーズに応えられる環境
と仕組みがある

- ・『空き家バンク』を活用して、どこにいても移住先を簡単に探せるシステムをつくる

②一戸町の良さや 田舎暮らしの良さに気づく

地元住民が、町の『魅力』を認識
している

- ・多方面の専門家を呼び、『一戸の魅力』を地域住民に伝える場をつくる

解説

3つのテーマについて、
それぞれ取り組み、理想の姿、
アイデアを出し合いました。

(例)子育て支援

情報の入口をつくろう！

知りたい情報にアクセスしやすく
様々な情報を得る環境がある

- ・町民が子育てガイドブックの編集委員になることで情報発信・収集の拠点になる

【取り組み】

各テーマで必要と考えられる取り組みを出し合いました。

【理想の姿】

参加者が感じている現状をシェアし、町の理想の姿を考えました。

【アイデア（具体的な取り組み）】

未来の理想の姿を実現させるために行うべき具体的な取り組みのアイデアを出し合いました。

地区懇談会

町の将来について、町民から意見を聞く『地区懇談会』が11月7日から10日にかけての4日間、各地区センターで開かれました。

小野寺美登町長が出席し①総合計画の策定について、②各地区センター、地域担当職員、地域づくりに関する事業について、③マイナンバーカードについての3つのテーマを説明。地域住民らは町の取り組みや地域が抱える悩みなど町に意見を投げ掛け、議論を深めていました。



一戸地区センターで行われた地区懇談会、大勢の町民が参加しました

町の未来を考える

町民ワークショップ、地区懇談会を開催



参加者の皆さん。回を重ねるごとに熱い議論が行われました

第6次一戸町総合計画
後期計画策定に向けて

町民 ワークショップ

を開催しました。

町では、2023年4月から2027年3月までの4年間の取り組みを定める、総合計画後期基本計画を策定しています。計画策定に当たり、今後の活躍が期待される若者と女性を中心に、『子育て支援』、『商工観光業』と『移住・定住、住宅政策』の3つのテーマについて話し合う町民ワークショップを、11月19日、12月3日、17日の全3回にわたり開催しました。ワークショップにはさまざまな世代の男女15人が参加し、町の未来について意見交換を行いました。

第1回目は各テーマについて、町民だからこそ知っていること、感じている現状を話し合い、情報を共有しました。第2回目では1回目で出された現状から各テーマの未来について考え、町の理想の姿についてアイデアを出し合いました。第3回目には、理想の姿を実現させるために必要な取り組みを考え、次ページのアイデア集にまとめました。参加者の皆さんがまとめた町の理想の姿や取り組みなどは後期基本計画に反映されます。

VOICE 参加者の声



澤口 雅実さん

多くのアイデアが出たが、ある程度策定した総合計画が基礎としてあればより良い話し合いになった。今回出た意見は多くの人に知らせていく必要があると思う。



根守 久美子さん

町を良くしたい思いがある人が多いことに驚いた。テーマは違えど、出る意見は同じ内容が多かったので、みんなが目指している方向は一緒だと感じた。



平野 祐二さん

今回は3つのテーマを課題にしたが、実はみんなつながっている。今後も話し合いを重ねていく必要がある。一番大事なのは実現可能なところまで話を持っていくこと。

3 民生委員・児童委員委嘱状伝達式 年に一度の一斉改選

民生委員・児童委員の任期満了による一斉改選に伴う委嘱状伝達式が12月1日、町コミュニティセンターで行われました。退任委員21人には感謝状が、新任委員21人を含む43人には厚生労働大臣からの委嘱状が手渡されました。同委員協議会の会長に再任した女ケ澤富士雄（小鳥谷）さんは「委員の皆さんには町民のために一緒に頑張ってもらいたい」と呼び掛けました。



新任および再任の委員には委嘱状が伝達されました

地 みたけ支援学校エコキャップ運動 域協働で社会に貢献

盛岡みたけ支援学校奥中山校（工藤弘毅校長、児童生徒14人）の児童生徒代表5人は11月30日、ペットボトルキャップ51,815個を町へ寄付しました。同校は地域交流を深めるため、児童生徒の家族や地域住民と協力しながらキャップの回収を進めています。寄付されたキャップはエコキャップ推進協会東北支部に送られ、発展途上国の医療支援などに役立てられます。



ペットボトルキャップを集めた箱の前で記念撮影

手 作りのリースや音楽で満喫

岩手県国際交流協会は12月10日、一戸地区センターでクリスマス会 in 一戸町を開催しました。外国人7人と町内外から訪れた44人の参加者は、クリスマスリースやカードを作製し、英語でクリスマスキャロルを合唱するなど交流を深めました。

土屋穂高さん（一戸小1年）は「作ったクリスマスカードはお父さんにプレゼントする」と微笑みました。

協同組合イコオショッピングセンターは同日、ショッピングセンターでクリスマス音楽会を行いました。一戸中学校吹奏楽部、一戸高校吹奏楽部、岩手大学ジャズ研究会が演奏を披露し、観客約200人を魅了しました。日影館恵風さん（一戸小1年）は「とても良い演奏だった。クリスマスの雰囲気を楽しめた」と振り返りました。



①クリスマス会の最後にみんなで記念撮影 ②大切な人へ、メッセージとともに贈るクリスマスカード ③岩手大学ジャズ研究会の演奏

持 北いわて SDGs mirai カフェ開催 続可能な町を目指すために

町が主催する北いわて SDGs mirai カフェが12月11日に、コミュニティセンターで行われました。19人の参加者は持続可能な町を目指して、自分はどんなことに取り組みたいか意見を交換。2030SDGsカードゲームでは参加者が5つのチームに分かれ、経済、社会、環境の3つの観点から2030年の世界の状況をシミュレーションしました。



参加者全員で記念写真。さまざまな世代が集いました

輝 奥中山高原駅イルミネーション点灯 く駅舎、地域を照らす

IGR 奥中山高原駅を飾るイルミネーションの点灯が12月17日から始まりました。

同日開かれた点灯式では、小野寺美登町長らが点灯ボタンを押すと、駅舎とその周辺がきらびやかな光に包まれました。イルミネーションを見に来た川底結依さん（奥中山小4年）は「つららのような光がきれい」と目を輝かせました。



2月27日までの期間、毎日16:00から23:00まで点灯されます

最 ドローンプログラミング教室 先端技術に触れる

岩手県と岩手県立大学が主催するドローンプログラミングの出前講座が11月29日、小鳥谷小学校で開催されました。5・6年生9人が参加し、ドローン操作の体験の後、目的地に向かって自動で着陸するプログラミングに挑戦しました。井橋宗士郎さん（6年）は「プログラミングは難しかった。何回も試してうまくいった」と達成感を得たようでした。



ドローンが狙い通りの動きをしてくれるか見守ります

手 三愛学舎生徒作製の名刺を納品 作りの温かみを届ける

カナン学園三愛学舎の専攻科受注生産科で作られた小野寺美登町長の名刺が11月29日、一戸町役場へ納品されました。この名刺は牛乳パックを材料として、パックの解体から印刷まで、全て生徒の手作業で作られています。納品に訪れた生徒代表の名久井勇亮さん（1年）は「形が崩れないように、厚みが均一になるよう心掛けている」と名刺への思いを語りました。



名刺を掲げる名久井さん。優しい風合いが特徴

これから愛される湯っこに 奥中山高原温泉『朝朱の湯』開業 30 周年

奥中山高原温泉『朝朱の湯』が 12 月 29 日に開業 30 周年を迎え、それを記念して同日、特別イベント『にぎわい特別市』がホテル奥中山高原別館で開催されました。会場では食品の販売やお汁粉のお振る舞いの他、福袋が当たるじゃんけん大会や奥中山産の野菜や乳製品などがプレゼントされるお楽しみ抽選会を実施。来場者約 250 人が参加し、賑わいを見せました。

アドバイザーの小笠原護さんは「30 周年というめでたい日を皆さんのおかげで迎えられた。また明日からもご支援いただきたい」と感謝を述べました。

松森愛子さん（中山）は「開業してからずっと利用している。この温泉は生活に欠かせないもの。近くで利用できて幸せ」と顔をほころばせました。



①お楽しみ抽選会で当たった景品を手に満面の笑顔で
②お振る舞いのお汁粉をもぐもぐ ③福袋をかけて白熱するじゃんけん大会

すがすがしく 1 年の幕開けを 元旦『茂谷の山』登山

登山愛好団体・朋遊会（小野寺邦夫会長）が年始めに行っている茂谷の山への登山が今年で 26 回目を迎え、子どもから大人まで 36 人が参加しました。役場前を午前 7 時に出発し、約 1.5 時間の道のりを 1 時間かけて山頂に到着。参加者は松林山神社を参拝し、有志による小友神楽が披露されました。その後、お神酒を交わし全員で『一月一日』を歌って新年の喜びを分かち合いました。

初参加の松田裕美子さん（関屋）は「すがすがしい気持ちで 1 年のスタートを切ることができた。今年は仕事も趣味の登山も充実させたい」と新年の抱負を語りました。

小野寺会長は「ここ数年で家族で参加する人が増えた。町の身近な山で登山を楽しんでもらえたらうれしい」と期待を込めました。



①ずらりと一列になり、雪を踏みしめながら進む参加者たち ②無事に山頂に到着し、笑みがこぼれます ③無病息災を願って小友神楽が披露されました

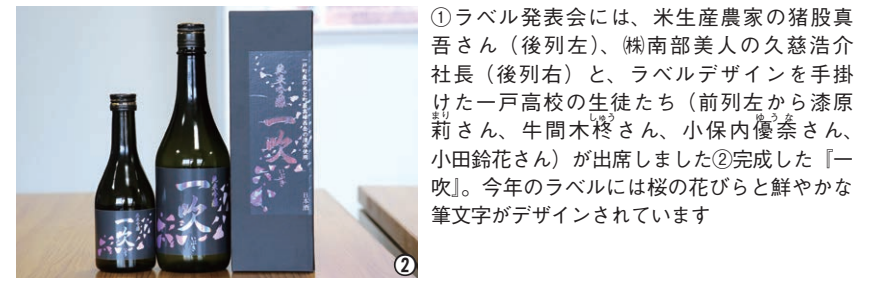
一吹、今年も完成 地域とつながる日本酒づくりプロジェクト

町と(株)南部美人では『地域とつながる日本酒づくりプロジェクト』と題して、町内産の米と水を使用した日本酒づくりを昨年から進めてきました。

12 月 26 日には一戸町役場で純米吟醸酒『一吹』のラベル発表が行われ、この日から町内の酒販店などで販売開始すると報告が行われました。ラベルデザインは今年も一戸高校の生徒が担当。ラベルには筆で描かれた桜の花びらが散りばめられています。

(株)南部美人の久慈浩介社長は「すっきりとした後味のきれいなお酒。ぜひ飲んでいただきたい」と胸を張りました。

一戸高校書道部の小田鈴花さん（2 年）は「華やかな筆文字と鮮やかな桜で、目に留まるようなラベルを心掛けた」と振り返りました。



①ラベル発表会には、米生産農家の猪股真吾さん（後列左）、(株)南部美人の久慈浩介社長（後列右）と、ラベルデザインを手掛けた一戸高校の生徒たち（前列左から漆原莉さん、牛間木柊さん、小保内優奈さん、小田鈴花さん）が出席しました②完成した『一吹』。今年のラベルには桜の花びらと鮮やかな筆文字がデザインされています

災 町へ電気自動車が寄贈される 害時の電源確保に活用

町は、折爪岳南第一風力発電所の事業会社である合同会社 JRE 折爪南 1 から寄付を受け、電気自動車と外部給電器を導入しました。12 月 27 日に役場庁舎前で行われた寄贈式では、小野寺美登町長が鍵を受け取り「災害時の電源確保や、脱炭素の実現に向けた PR に活用させていただく」と感謝の言葉を述べました。



地域貢献事業の一環として寄贈された電気自動車

た 松原ヒデさん満 100 歳 くさんのお祝いに、笑顔咲く

松原ヒデさん（中山）が、12 月 17 日に満 100 歳を迎えました。19 日には、家族が見守る中、町や町社会福祉協議会から、記念品が贈られました。

ヒデさんの長寿の秘訣は、好き嫌いせずなんでもよく食べること。特に白米やお肉が好きだそうです。たくさんのお祝いを受けてヒデさんは「なんとも言えないくらい、うれしい」と喜びをかみしめていました。



家族に囲まれ、お祝いに記念撮影

マイナンバーカードの申請はお済みですか？ 役場で申請サポート実施中です

お知らせ

町民課 総合窓口係 ☎ 33-2111 内線 114



役場では、マイナンバーカード申請用写真を
無料撮影し、オンラインで申請するサポートを
行っています。申請を希望する人は、QR コード
付きの申請書を持参の上、町民課までお越し
ください。

郵送申請やご自身のスマートフォンによるオ
ンライン申請、証明写真機や携帯キャリアショッ
プ、郵便局などの手続きスポットでも申請する
ことができます。

申請書を紛失した場合や、住所や名前に変更が
ある場合には役場で再発行ができます。

※申請後、カードが出来上がるまで1 カ月程度か
かります。

■受付時間

平日 9:00 ～ 16:30

休日 9:30 ～ 12:30

※ 1 ～ 2 月中の休日開庁日は 1 月 29 日(日)、
2 月 12 日(日)、25 日(土)です。

■申請時の持ち物

・本人確認書類

①免許証、旅券、障がい者手帳、在留カード
などから 1 点

※①が無い人は②から 2 点

②保険証、年金手帳、学生証、医療費受給
者証など

・QR コード付き申請書またはマイナンバー通
知カード

小鳥谷駅前、奥中山第 1 町営住宅の入居者を募集します

募集

町地域整備課 ☎ 33-2111 内線 282



■募集住宅

○小鳥谷駅前住宅 2 戸

(小鳥谷字中屋敷 1-82)

・木造 2 階建て長屋 3 D K (平成 5 年築)

・家賃 21,300 円～ 41,900 円程度

○奥中山第 1 住宅 1 戸

(奥中山西田子 1311-1)

・木造 2 階建て長屋 3 D K (平成 17 年築)

・家賃 25,600 円～ 50,300 円程度

■入居可能日

令和 5 年 3 月中旬

■申込み

1 月 16 日(月)～2 月 3 日(金)の期間に問い合
わせ先へ直接申し込んでください。

申請書類は問い合わせ先で配
布するほか、右記の町ホーム
ページからもダウンロードでき
ます。



ホーム
ページ

■申込み条件

①世帯の月額所得が次の要件を満たし、家賃の
支払能力のある方

・一般世帯 158,000 円以下

・老人世帯・身体障害者世帯など

214,000 円以下

②現に住宅に困窮していることが明らかな者で
あること

③町税などを滞納していないこと

農業はじめるなら、夢ファーム

あなたが今、農業をはじめたいと思うのなら、
2 年間、頭と体で農業を学ぶ、
『一戸夢ファーム』があります。



第 11 期研修生を募集します

■募集人数 3 人程度

■受付期間 3 月 3 日(金)まで

■申込資格

・令和 5 年 4 月 1 日時点で 48 歳未満の人

・研修修了後は原則一戸町内に住むこと

・独立・自営就農、雇用就農または親元での就農を
目指すこと

・就農予定時の年齢が原則 50 歳未満であり、農業
経営者となることについての強い意志を有してい
ることなど

■申込方法

研修生試験申込書と作文を農林課へ提出してくだ
さい。まずは下記問い合わせ先にご相談ください。

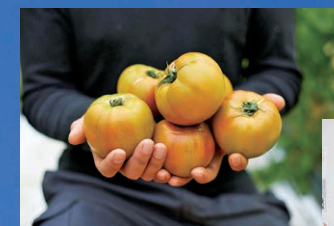
■その他

国の給付金(年額 150 万円)などの支援が受け
られます。詳しくはお問い合わせください。

■いちのへ夢ファームとは

新規就農を目指す人や後継者を対象に 2 年間の研
修を行い、就農に導きます。

町で栽培されている野菜や花きの園芸品目や新需
要野菜などを学びながら、自分に適した品目を見つ
けるとともに技術を身に付け、農業経営の自信を養
う研修の場です。



短期研修も可能です

一戸夢ファームでは、冬の期間だけ勉強したい人、
仕事の合間に農業の勉強をしたい人、農業経営を行っ
ているが改めて基礎(例:土づくり)を勉強したい人
など、短期研修生も募集しています。

詳細や申込みについては、お問い合わせください。

町農林課 ☎ 33-2111 内線 254

(株)一戸夢ファーム ☎ 35-3775

<https://ichinohe-yume.com>



#桜陵

一戸高校の星

本年度、生徒会副会長と華一同好会副部長に就任し、地域活動にも意欲的に参加する田中大翔さん。今後の意気込みについてお話を聞きました。



生徒会副会長・
華一同好会副部長
田中 大翔さん
(一戸中出身・1年)

○生徒会でやりたいことは？

SDGs への取り組みをもっと活発にすることです。古着や使っていない雑貨を集めて、必要としている団体に寄付する活動を考えています。

○華一同好会での目標は？

イベント参加を増やして地域活性化につなげたいです。華一に興味を持つ小中学生も増えてほしいですね。

○一戸高校生へ向けて一言！

自分たちの世代が活躍することで町に活気が生まれると思います。一緒に頑張りましょう！

話題 Topics

介護・福祉学習の総まとめ『介護過程発表会』

介護実習で実践した個別援助計画を発表する『介護過程発表会』が、久慈東高校と一関第二高校との三校合同で、12月15日に行われました。一戸高校からは介護・福祉系列を選択または希望する1年生から3年生の27人が参加。3年生は、介護・福祉の学びの集大成として、介護の利用者が自立した日常生活を送るために必要な支援を検討し、作成した個別援助計画を発表しました。

3年下平瑞稀さん（奥中山中出身）は「一つの問題をもっと深掘りしていかなければならないと実感した。今後の進路でも学んだことを生かしたい」と決意を新たにしました。



個別援助計画を発表する下平さん

SDGs アクション

未来のために、今できることを考える

岩手県と岩手県立大学が実施する北いわて未来人育成事業出前講座を1年生75人が12月1日に受講しました。同大学の渋谷晃太郎名誉教授の講義では、2050年の一戸町の将来像を予想し、町が抱える課題を提示。後半では取り組みたい課題について環境、保育、地域振興など9つのテーマに分かれ、解決に向けた具体的な行動を検討しました。1年生はこの講座で学んだことを踏まえて、来年度から始まる地域課題研究に取り組むこととなります。

金石楓太さん（一戸中出身）は「行動する人が多いほど、解決できる課題も多くなると思う。まずは自分から行動していきたい」と意気込みました。



グループごとに課題に対してできることを考え、全体で共有しました

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期となる場合があります。あらかじめご了承ください。

総合保健福祉センター

①バランスの良い食事を心掛ける

『糖質』『たんぱく質』『脂質』のほかに『ビタミン』や『ミネラル』が大切です。これらは食べた物の代謝や脂肪燃焼の働きもありますので、体重減少にも役立ちます。寝る2時間前までに間食含め食事を終えることも体重減少につながります。

②腹八分目を実行しよう

必要以上に取ったものは脂肪に変わり、体の中にたまっていきます。また、早食いも食べ過ぎの原因になります。ゆっくり味わって食べて、腹八分目を意識しましょう。

③活動量を増やそう

激しい運動でなくても大丈夫。今より少し多めに体を動かしましょう。例えばモップがけの時間・回数を増やしたり、いつもより遠回りの散歩や歩いて通勤したりと生活の中から見つけるのも良いですね。

無理せずできる、続けられることを見つけて実践してみましょう。

4月からは令和5年度の特健診が始まります。体重1kg減、腹囲1cm減の目標を立ててみませんか？まだ間に合います。自分の健康のため、目標を決めて取り組みましょう。

お正月太りを解消しよう！

年末年始にたくさん食べた皆さん、体重計に乗ってハッとしていませんか？お正月に体重が増える原因は、生活リズムが不規則になること、食事が減ること、活動量が減ることです。

今回は、お正月太り解消のポイントをお伝えします。

地域包括支援センター

鳥海地区、小鳥谷地区については、65歳以上の人が2人に1人以上となっています。

今後も、町内全域で高齢化が続くことは予想されます。

年を取るとちょっとした困りごとが増加しますが、そのときには介護保険のサービスの利用を考える人も多いと思います。しかし、現在は介護保険だけでなく、住民同士の支え合い活動が重要です。

この活動は、支えられる人にとっては少しの支えにより、住み慣れた地域での生活継続につながり、支え

る人にとっては、自分にできることによる社会活動への参加、日々の生きがいづくりにつながります。

町では、住民同士の助け合いボランティア『すける's』が活動しています。家事の援助、話し相手、安否確認などを行います。

現在、『すける's』ではボランティアスタッフを随時募集しています。詳細は、包括支援センターまたは町社会福祉協議会にお気軽に相談してください。

☎一戸町社会福祉協議会
33-3385

★保育施設開放 ※要予約、マスク着用の上お越しください

いちのへじょうもの里こども園 ☎ 32-2220
奥中山みどりの森こども園 ☎ 35-2319
小鳥谷保育所 ☎ 34-2524 摺糠児童館 ☎ 35-2316

★子育て支援ひろばのびのび

平日の①・②・③ 9:30～14:30
☎ 32-3770 ※（旧一戸幼稚園）

★るんだ・るんだ ※要予約、マスク着用の上お越しください

10:00～12:00 ☎ 35-2314
※中山字大塚4-6（奥中山学園内）

家族介護者交流会

■日時
2月10日(金) 10:00～11:30
■場所 旧宇別保育所

シルリハー戸えがおの会

■日時
2月3日(金) 10:00～11:00
■場所 コミュニティセンター
■持ち物 タオル、上履き、飲み物

オレンジカフェさくらの会

■日時
1月21日(土) 10:00～12:00
■場所 コミュニティセンター
■参加費 100円
オレンジカフェさくらの会 in 宮田温泉
■日時
1月29日(日) 10:00～12:00
■場所 宮田温泉
■参加費 100円

コミュニティセンター&一戸町立図書館通信

わわわのどおーも & ぶらぶららいぶらりい

〒028-5312 一戸字砂森 117-2 / ☎ 31-1400 FAX 31-1888
 コミセン▷ <http://ichi-culture.jp/komisen/> 図書館▷ <http://ichinohe-lib.sakura.ne.jp>

① **ロビー展示会**
『新年かきぞめ大会 金賞作品展示会』

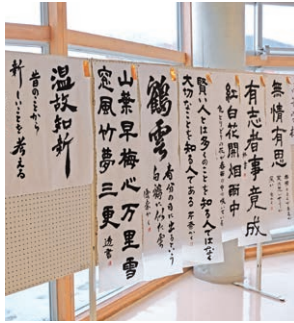
1月7日開催の新年かきぞめ大会の金賞作品を展示します。

■期間 1月7日(土)～1月22日(日)
 9:00～19:00
 (土日は18:00まで)

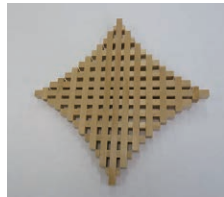
※7日は午後から展示

■場所 コミュニティセンター
 ギャラリー

■入場料 無料
 閤コミュニティセンター



② **伝統的な組子細工を体験**
地域おこし事業『長山工芸の木工教室』



木工の匠・長山三蔵氏を講師に、南部
 細目組紋様細工のコースターと一緒に作
 ろう！

行燈（照明スタンド）などの展示もあ
 ります。

■日時 2月11日(土)・(祝) 14:00～15:30 (受付開始 13:30)

■場所 コミュニティセンター ホール

■対象 どなたでも (未就学児は保護者同伴)

■料金 500円 (材料費)

■申込み 図書館へ直接または電話で申し込み。
 (定員 20人。定員になり次第受付終了)

閤図書館

イベントカレンダー

※イベント参加時は、マスクの着用(2歳以上)と名簿への記入をお願いします。

▷ 1月

① 7 土 『新年かきぞめ大会 金賞作品展示会』
 (～1月22日)

としょかん映画会 / 10:30～
 日本の昔ばなし『因幡の白兔 / 嫁の
 坊主頭』(15分、幼児・児童向け)

14 土 冬休み特別☆としょかん映画会
 / 14:00～『映画すみっこぐらし
 青い月夜のまほうのコ』
 (64分、幼児・児童向け)

18 水 13:30～童謡・唱歌を楽しむ会

20 金 とことこおはなし会 / 乳幼児向け
 10:45～(子育て支援センターのびのび)

22 日 9:00～絵画教室 / 一般向け

25 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 300円

○ 1月休館日
 10(火)、16(月)、23(月)、30(月)

▷ 2月

ボードゲームであそぼう！
 4 土 14:00～16:00 (参加無料・申込
 不要)

8 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 300円

としょかん映画会 / 10:30～
 『ぼくは王様 カレンダーはにちよ
 うび』(20分、幼児・児童向け)

② 11 土 14:00～15:30 / 地域おこし事業
 『長山工芸の木工教室』

12 日 9:00～絵画教室 / 一般向け

15 水 13:30～童謡・唱歌を楽しむ会

17 金 とことこおはなし会 / 乳幼児向け
 10:45～(子育て支援センターのびのび)

22 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 300円

わわわシネマ / 16:00～(予定)
 25 土 『SING ネクストステージ』
 入場整理券 500円 (前売り・当日)

26 日 9:00～絵画教室 / 一般向け

○ 2月休館日
 6(月)、13(月)、20(月)、24(金)、27(月)

雪原の足跡をたどる～冬の御所野縄文公園～

今年最初の御所野講座です

ごしよの de まなびプログラム
 『冬の縄文公園を歩こう』



冬の御所野遺跡はとても静かですが、白い雪原には
 ウサギやキツネなどの足跡がいっぱい。クロスカント
 リースキーやスノーシューを履いて、そんな冬の縄文
 公園を散策します。防寒装備でご参加ください。

■日時 2月4日(土) 10:00～12:00 (荒天中止)

■場所 御所野縄文公園

■料金 (保険料込み)
 高校生以上 500円、中学生以下 200円

■申込み 博物館へ電話で申し込み。(定員 10人)

自分だけのオリジナル雪だるまを作ろう！

運動公園でクロスカントリーが楽しめます

冬を楽しむ！雪だるま・雪像作り体験



家族や友人とオリジナルの雪だるまや雪像をつくっ
 て冬を楽しもう！

■日時 2月26日(日) 10:00～15:00

■場所 総合運動公園 円形広場

■申込み 2月17日(金)までに運動公園へ直接また
 は電話で申し込み。(参加無料)

■その他

- ・完成した雪だるまや雪像前で記念写真を撮ります。
- ・雪像に使う塗料や飾りは持参してください。
- ・貸し出せるスコップや園芸用シャベルに限りがあり
 ますので、持っている人は持参してください。

第10回御所野講座

御所野縄文博物館館長と一緒に、御所野遺跡につ
 いて学びます。シリーズ途中からでも参加可能です。
 (参加無料、申込不要)

■日時 1月28日(土) 13:00～15:00

■場所 御所野縄文博物館



History
御所野縄文博物館だより
 閤御所野縄文博物館 ☎ 32-2652
 ○休館日
 1/16(月)、23(月)、30(月)、
 2/6(月)、13(月)

今年もやります！クロスカントリー体験

運動公園は一面真っ白な雪景色。雪の積もった公園
 内にはクロスカントリー (歩くスキー) コースが出現
 します！家族みんなで気軽に歩くスキーを楽しんでみ
 ませんか？

コースの利用料は無料、道具一式も無料で貸し出し
 しています。(靴のサイズは22.5～27号となります。)
 希望者にはワンポイントアドバイスも可能です。

お誘い合わせの上、冬用の動きやすい服装でお越し
 ください。

Sports

運動公園だより

閤NPOスポーツウェルネス
 ☎ 33-4444 FAX 33-4445
 開館 9:00～21:00





○先月号の答え サンビレRC

○先月号の当選者（応募 12 通）

- ①ふとっちょさん ②縄文恵理さん
③クリスマスソングさん

○今月号のクイズ

- Q1** 町民ワークショップの参加者は何人？
（ヒント：P8）
Q2 広報に関する意見感想、取り上げてほしい人・内容などありましたらお聞かせください。

○応募方法

ハガキ、またはメールに①クイズの答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥ペンネーム（あれば）を記入し、下記へご応募ください。

○あて先

〒028-5311
一戸町高善寺字大川鉢 24-9
広報クイズ係（1 月 31 日締切）
メール：kouhou@town.ichinohe.iwate.jp

人の動き 11月末(前月比)

人口 11,606 人（－ 32）

男性 5,608 人（－ 18）

女性 5,998 人（－ 14）

世帯数 5,574 世帯（－ 16）

転入 8 人 転出 24 人

出生 1 人 死亡 17 人

火災・救急 (11 月分)

火災 0 件 救急 46 件

交通事故 (11 月分)

発生件数 16 件

人身事故 1 件(死者 0 人)

物損事故 15 件

ごみの量 (11 月分)

排出量 257ト

（町民 1 人 1 日 605㍓）

子育て知恵袋 child-raising

一戸小学校 副校長 千葉 道宏



親から、そして子へ

子育てで悩んだことと言われれば、あふれるほど出てくるのですが、知恵と言われると、自分の子育てで何が適切だったのか、これも悩みます。目の前のわが子を見て、両親にもらったことを真似しながら、そこに自分の想いを加えてきましたが、芯のない子育てをしてきたように感じます。両親にもらったことだけではという想いはありませんが、尊敬する人は誰ですかと問われると、両親ですと応えてきました。その父が 3 年前に突然の他界。そして母も今年 7 月に他界。両親がこの世のどこにもいなくなることは、悲しいとかつらいとかの言葉では言い表せない感情でした。ああすれば、

こうすればよかったという後悔の毎日も続きました。今まで安心の中で生活できたこと、楽しく生活できたこと、当たり前を当たり前でできていたことは、親が元気でいてくれたからなんだとつくづく思いました。さて、その両親は、じいちゃん、ばあちゃんとして、わが子のことを幼稚園の頃から見てくれました。園や学校から帰ると、キャッチボール、お絵かき、縄跳び、ケーキ作り、野球とバレーの応援……。孫なので、甘さも見られた。その様子を見続けてきて、両親が大切にしていたことは何かなあと考えると、決して否定しないことかなと思います。何か失敗した後も「怒るなよ、言っただけでいい」

とよく言われたことを覚えています。最後はいつも笑顔です。さて、自分の子育てを振り返ってみると、両親にもらったことの半分もできていないと思いますが、否定しないことと笑顔だけは気を付けているつもりです。子どもたちは成人しています。心配だらけの子どもですが、家に来たときには、自分から仏壇に手を合わせます。『ありがとう』という言葉を送っているようです。なんだか私の両親の子育てになつてしまいましたが、私はこれから目の前の子どもを見て、親に教わったことに自分の色を付けながら背中を押していきたいと思っています。

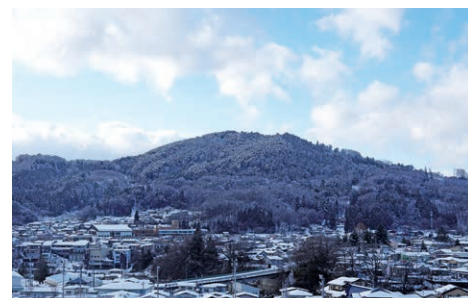
みなさんからのおたより Letter

町の歴史、文化、自然、観光、グルメなどを知るためにパンフレットを活用させていただいていますが役場 2 階のカウンターに行き初めてこういうのがあるのだと気付かされます。提案ですが役場 1 階テーブル上に設置してはいかがでしょうか？多くの来庁者の目に触れなければパンフレット活躍の場が無いように思います。小繋 60 代女性

☆ご意見ありがとうございます。より多くの方に見ていただくように役場庁舎 1 階の町民ホールにパンフレットコーナーを追加しました。役場にいらした際にはぜひお手にとってご覧ください。

いちのへまちめぐりミュージアム cultural property

国世界遺産課 ☎ 33-2111 内線 553



地域の人に親しまれてきた茂谷の山

一戸駅の北東に位置する標高 382.7 メートルの『茂谷の山』。一戸地区のシンボリックな山として、元旦登山（今年も無事に行われました。）など地域の人に親しまれています。

実は、『茂谷の山』には地質学の世界において別の呼び名があり、鳥越野月内館までの範囲を含めて一戸深成岩体と呼ばれています。恐竜が暮らしていた約 1 億年前の白亜紀に地下のマグマだまりで形成された一戸深成岩体。なにやら大仰な名前ですが、北上山地深成岩類に属する、

二戸地域では珍しい深成岩のかたまりです。

地質調査総合センターが平成 30 年に刊行した報告書『一戸地域の地質』によると、一戸深成岩体は南北で岩相が異なり、北部はモンゾ閃緑岩を主として斑れい岩、石英閃緑岩、石英モンゾ閃緑岩が含まれ、南部は主に石英モンゾニ岩からなるということです。

元々、『茂谷の山』近辺は古くから石材の産地として知られています。龍頭川付近で採られた石が小滝石という名前で珍重されていたのをご存じでしょうか。

石材の利用は縄文時代まで遡り、世界遺産『御所野遺跡』の中心部につくられた配石遺構には、茂谷の山から運ばれた石が使われています。機械のない縄文時代に縄文人たちは大変な苦勞をして『茂谷の山』の石

を運んでいました。

また時代は下って、九戸城（二戸市）や三戸城（三戸町）の石垣にも『茂谷の山』産とみられる深成岩が使われています。株式会社戸田久本社工場敷地に、割るための矢穴がうがたれた大きな岩が置かれており、この近辺から石材を採掘し馬淵川を利用して運搬したことがうかがわれます。※敷地内への無断立ち入りはご遠慮ください。

もしかしたら、皆さんの身の回りにも『茂谷の山』の石が使われているかもしれませんね。



工場敷地内の深成岩。岩の中央側に二つの矢穴が見えます

短歌

俳句

11 月短歌・俳句会 一戸町文化協会短歌・俳句部会 場所・一戸地区センター（文化センター）

若きらの動きたのもし稲こきの
順番すすむ秋の日すがし
寂聴尼の墓参叶ひてうれしかり
笑顔の説法しのお小春日
ティティカカ湖岩合さんの子猫たち
地球の危機も知らずじゃれ合う
日の出づるわづか一瞬山際に
薄紅の雲現はれ消ゆる
つきぬける空の高きを明るめて
黄葉かがやくから松林
日を置かず叔父と従兄弟の訃報受く
寒さの季のなほ寂しかり
もみじ道くぐりて見たり小春空
燃え上らんと競いつつあり
風止みて落葉まみれの山路来し
朴の葉もあり楽し里山
静謐な寺に輝く床もみじ
この期に会えて心鎮もる

友の友贈り来し柚子おすそ分け
朝寒や友への返信遅くなり
秋の蝶庭の片づけ弾みたり
秋日ざし浴びてゆったり舟をこぐ
暮れ早し生徒らの皆黙々と
秋刀魚高食すことなく冬迎え
畑仕舞したる男の声のどか
庭に置く石臼塞ぐ初水
降りしきる公孫樹古木の歴史聴く

岩 渕 良子
柴 田 のぞみ
東 山 智子
佐 々 木 悦子
仁 昌 寺 洋子
山 火 明良
遠 藤 道子
中 舘 木実
柴 田 サヨ子

大 矢 トモ
中 舘 木実
岩 渕 良子
東 山 智子
初 森 テル
遠 藤 道子
山 火 明良
柴 田 サヨ子
仁 昌 寺 洋子

開催
令和 4 年度
北方領土パネル展

北方領土の概要や歴史などを分かりやすくまとめたパネル展を開催します。

■日時
1月23日(月)～2月10日(金)
9:00～17:00
※1月23日(月)は13:00開始で、2月10日(金)は15:00終了となります。

■場所
奥州市文化会館 Z ホール 1 階エントランスホール（奥州市水沢佐倉河字石橋 41 ☎ 0194-22-6622）
■その他 入場無料、申し込み不要です。
☎ 北方領土返還要求運動岩手県民会議（岩手県ふるさと振興部国際室内）☎ 019-629-5765

お知らせ
確定申告などに
公的年金の源泉徴収票

二戸年金事務所から『令和 4 年分公的年金等の源泉徴収票』が令和 5 年 1 月中旬より送付されます。確定申告などに使用してください。

紛失した場合は、電話で再交付を依頼できます。お手元に年金証書など、基礎年金番号が分かるものを準備し、二戸年金事務所に連絡してください。
☎ 二戸年金事務所 ☎ 23-4111（案内後⑤押す）



＋ 一戸町と近隣市町村の休日当番医

月日	当番歯科医（管内）	電話	休日当番医（管内）	電話	休日当番医（岩手町）	電話
1/15	ぼっぱ歯科クリニック	31-1182	管整形外科皮膚科クリニック	23-7311	佐渡医院	62-3211
22	ますだ歯科クリニック	26-8282	金田一診療所	27-2205	さわやかクリニック	62-2043
29	管歯科	23-5161	いちのへ内科クリニック	33-2701	北上脳神経外科クリニック	61-3636
2/ 5	こしみず歯科クリニック	33-4618	齋藤産婦人科医院	23-2505	佐藤整形外科クリニック	68-7240
11	岩淵歯科医院	32-2238	カシオペア医院	23-3331	岩手沼宮内クリニック	61-2025
12	國香歯科医院（石切所）	23-2764	ふくもりたこどもクリニック	43-3137	沼宮内地域診療センター	62-2511
19	みさわ歯科医院	43-3115	二戸クリニック	25-5770	佐々木医院	62-2234

※当番医は変更になることがあります。事前に電話で確認してください。

開催
持続可能なまちを考える
『第 5 回北いわて SDGs mirai カフェ』

SDGs（持続可能な開発目標）や一戸町、北いわての未来について、皆さんと一緒に考えます。
■日時 1月29日(日) 13:30～16:00
■場所 一戸地区センター 2 階大会議室
■内容
・関心のあるテーマや実践したい取り組みの実施に向けた検討
・実際に活動している方からのアドバイスや意見交換

お知らせ
お買い物サポーターが
手助けします

品物選び、支払い、袋詰めなどをボランティアスタッフがお手伝いします。当日は買い物前後にくつろげるお休み場所を用意します。どなたでも気軽に利用してください。

■日時
1月19日(木)、2月16日(木)、3月16日(木) 13:00～15:00 ※1 回だけの利用も可能です。
■場所 ジョイースー戸店
■料金 無料
■申込み
利用したい人は問い合わせ先へ、電話で申し込んでください。(当日予約なしの参加も可能です。)
☎ 一戸町社会福祉協議会 ☎ 33-3385
☎ 地域包括支援センター ☎ 32-3700

※詳しい内容は町ホームページを確認してください。

■料金 無料
■定員 20 人
■申込み
問合せ先に電話、または右記の町ホームページ応募フォームから申し込んでください。
☎ 町政策企画課 ☎ 33-2111 内線 213



ホームページ

募集
町文化協会機関誌
掲載作品を募集します

文化協会機関誌『いちのへ』第 51 号の掲載作品を募集します。
■投稿規定
・小説、随筆、体験記、詩、短歌、俳句、読書感想文、文化に関する評論
・字数 3000 字以内

■応募方法
住所、氏名、電話番号を明記の上、2月28日(火)までに問い合わせ先へ提出してください。なるべく電子データと印刷したものの両方を提出してください。
☎ 町文化協会 ☎ 32-2204
☎ コミュニティセンター ☎ 31-1400

開催
町文化協会
チャリティショー

舞踊、民謡、詩吟、コーラスなどのチャリティショーを開催します。
■日時 1月29日(日) 12:00～
■場所 コミュニティセンター
■料金 無料
☎ 町文化協会 ☎ 32-2204

お知らせ
戦没者らの遺族の皆様へ
『特別弔慰金』を支給します

戦没者らの尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔意の意を表すため、戦没者らのご遺族に特別弔慰金が支給されます。

■対象
令和 2 年 4 月 1 日時点で『恩給法による公務扶助料』や『戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金』などを受ける人（戦没者らの妻や父母）がいない場合に、次の順番による最も先順位の遺族一人に支給。
▶戦没者らの死亡当時の遺族で…
①…令和 2 年 4 月 1 日までに戦傷病者特別援護法による弔慰金の受給権を取得した人
②…戦没者らの子
③…戦没者らの『父母』、『孫』、『祖父母』、『兄弟姉妹』（死亡当時の生計関係により順番が入れ替わります）

④…上記①から③以外の戦没者らの三親等内の親族（おい、めいなど）
※戦没者らの死亡時まで、引き続き 1 年以上の生計関係を有していた場合に限りま。

■支給内容
額面 25 万円、5 年償還の記名国債
■請求期間
令和 5 年 3 月 31 日まで
※請求期限が近づいています。期間を過ぎると受給できなくなりますので、ご注意ください。
■請求窓口
町総合保健福祉センター
※事前に電話予約をお願いします。
☎ 福祉課 32-3700 内線 604

募集
放課後学童クラブ
令和 5 年度の利用児童を募集します

■受付日時
1月23日(月)～27日(金)の開所時間内
■受付場所 入所を希望する学童クラブ
■対象
町内の小学生で、放課後などに家庭で保育する人がいない児童。(健康上の理由など、集団での保育が難しい場合は入所できないことがあります)
■保育時間
下校後（授業のない日は 8:00 から 18:15 まで）※日曜日、祝日、お盆、年末年始は休み。
■料金
月額 2,000 円
※同時入所で 2 人目以降は 1,000 円。おやつ代や父母会費など別途負担あり。

■申請方法
各学童クラブにある入所申請書に必要事項を記入の上提出してください。申請書には同居家族全員の氏名や就労状況などを記入してください。
※現在利用中の児童も申請する必要があります。
■対象施設
一戸学童クラブ、一戸南学童クラブ、小鳥谷学童クラブ、奥中山学童クラブ
■その他
定員を超える場合は、低学年・ひとり親家庭を優先します。家庭の就労状況などを確認させていただく場合があります。
☎ 健康子ども課 ☎ 32-3700 内線 618

町民割引券について

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、町民の皆さんが利用しやすいよう、割引券を発行します。点線で切り取り、フロントなどに提出すれば右記の料金になりますので、ぜひご利用ください。



■朝朱の湯大浴場

☎ 奥中山高原・来田温泉 町民割引券
(広報 1 月号—R5.2.28 まで有効)
この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引金額でご利用できます。
※本券 1 枚につき 1 人有効。

■煌星の湯・朝朱の湯
中学生以上 100 円 引き
小学生以下 50 円 引き
■来田保養センター
休館日 第 1 週、第 3 週火曜日
中学生以上 50 円 引き

information
お知らせ
皆さんの暮らしに役立つさまざまな情報をお届けします。

一戸町役場 ☎ 0195-33-2111
〒 028-5311
一戸町高善寺字大川鉢 24-9
☎ 019-629-5765



ホームページ

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期となる場合があります。あらかじめご了承ください。
※イベント参加時は検温、消毒、マスクの着用にご協力ください。



開催
第 25 回三愛学舎
『9 人の卒業展』

生徒たちが入学から 3 年間取り組んできた芸術活動の成果を発表します。一人一人の個性と魅力にあふれた作品の数々をご覧ください。どなたでも見学できます。
■日時 1月24日(火)～2月12日(日) 9:00～16:00
■場所 奥中山地区センターロビー
■料金 無料
☎ 三愛学舎 ☎ 35-2231

町民割引券について

☎ 奥中山高原・来田温泉 町民割引券
(広報 1 月号—R5.2.28 まで有効)
この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引金額でご利用できます。
※本券 1 枚につき 1 人有効。

■煌星の湯・朝朱の湯
中学生以上 100 円 引き
小学生以下 50 円 引き
■来田保養センター
休館日 第 1 週、第 3 週火曜日
中学生以上 50 円 引き

今年のテーマ

Harmony with Nature



一戸小学校金管バンドクラブ あっという間のコンサート

一戸小学校金管バンドクラブによる『あっという間のコンサート』が12月23日、一戸町体育館で行われました。

今年で20回目を迎えたコンサートには、約150人の観客が駆け付けました。

第51回マーチングバンドバトントワリング東北大会に出場した同クラブ。大会曲の『Harmony with Nature』や『新時代』に、OBOGの中高生も交えた演奏など計12曲を披露しました。

今回のコンサートは11月に開催予定でしたが、コロナ禍の影響で延期されました。部長の稲塚^{ほのか}萌菜さん(6年)は「開催できて本当に良かった。保護者や地域の皆さんにこれまでの感謝を伝えることができた」と振り返りました。

編集後記

▼明けておめでとうございませう。昨年は多くの皆さまに支えられ、広報いちのへを発行することができました。温かいおたよりや、取材先での励ましのお言葉の数々、誠にありがとうございます。本年もより良い紙面づくりに励みますので広報いちのへをどうぞよろしくお願ひいたします。耳寄りな情報などありましたら担当まで気軽にご連絡ください。

(瀧澤)

▼8坪の町民ワークショップを取材させていただきました。その中で出た意見がどれも前向きで、なんとなく自分の背中を押してもらったような気持ちになりました。「まだまだできることはある」。皆さんの熱い思いの向かう先へ、及ばずながら私も供させていただきます。本年も広報いちのへをよろしくお願ひいたします。

(柴田)

●広報いちのへ1月号の印刷経費は1部77円(税込)です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。

